

お茶大アカデミック・プロダクション

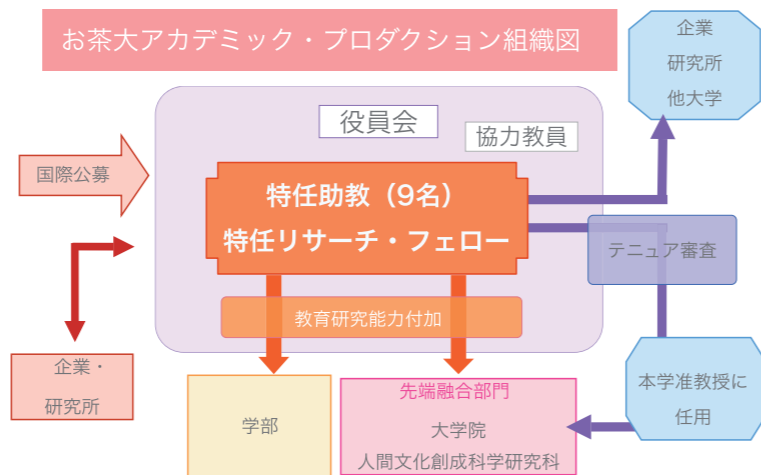
自立する研究者を育成する新たな取り組み

「挑戦する研究力と組織力を備えた若手育成」 (平成19-23年度)

役員会直属の人材育成組織「お茶大アカデミック・プロダクション」を設置して、新分野に挑戦する若手研究者を、テニユア・トラックに適する人材として育成する事業を開始しました。

人材システム改革

このプログラムでは、国際公募によって世界的に活躍しうる若手研究者を募り、自立した環境で研究することによって、新たに研究領域をリードする人材の育成を目指します。このプログラムによって採用した特任助教（9名）には、研究力だけでなく、教育する力、そしてマネジメントする力を備え、常に挑戦することが期待されています。



研究は常に挑戦的であることが求められますが、そのためには、自ら研究環境を構築し、研究チームや組織を率い、後進を教育し指導する力が必須です。そこで、お茶の水女子大学では、役員会直属の人材育成組織を設け、大学院先端融合部門と協働し、全学的な体制の下で若手研究者を育成する独自のシステムを構築しました。平成20年1月23日には、アカデミック・プロダクション担当者の辞令が交付されています（写真）。

国際公募による助教の採用

本学が重点領域としている研究分野で先端的研究を行い、また今後研究者としてそれぞれの分野を先導しうる将来性のある若手研究者を国際公募し、応募者187名の中から9名（男性5名、女性4名）を特任助教として採用しました。国際公募によって採用した9名の特任助教には、その資質に応じて、それぞれに0~2名の特任リサーチ・フェローアソシエイト（RF）計9名を配置し、大学院先端融合部門の教員との共同研究、学部・大学院での英語による教育訓練を実施することに加えて、役員や協力教員メンターが学外ポストへの挑戦のノウハウや競争的資金獲得の手だてを伝授することによって、研究力、教育力、組織力を強化します。そして、プログラム終了時には、テニユア・ポストに適した人材を3名~4名程度の准教授を採用する予定です。



特任助教紹介 【平成19年度着任予定】

生命情報学

量子情報科学

シミュレーション科学

小倉 淳
研究キーワード：遺伝子発現実験・解析、生命の多様性と進化、マイクロアレイ実験・遺伝子実験経験者

Jesper Jansson
研究キーワード：Comparative Genomics / Phylogenetics / Efficient graph algorithms

金本 理奈
研究キーワード：量子光学理論、冷却原子・分子物性、量子情報系への適用

森 寛敏
研究キーワード：大規模相対論的量子化学計算、フラグメント分子軌道法、金属含有生体分子

ソフトマターサイエンス

超分子化学

ユビキタス・コンピューティング

関連する基礎科学

郡 宏
研究キーワード：非線形ダイナミクス、同期現象、生命リズム

貞許 礼子
研究キーワード：ケミカルバイオロジー、生体関連化学、細胞表層工学

塚田 浩二
研究キーワード：実世界指向、ヒューマンコンピュータインタラクション (HCI)、プロトタイピング、ヒューマンインタフェースデバイス

佐野 浩子
研究キーワード：生命科学、ショウジョウバエ、発生遺伝学、器官形成

工藤 和恵
研究キーワード：非線形・非平衡、量子スピン系、パターン形成



お茶大アカデミック・プロダクション

自立する研究者を育成する新たな取り組み